

江東区シルバー人材センター  
**第四次中期計画**

令和4年度～8年度

公益社団法人 江東区シルバー人材センター

## 第四次中期計画策定にあたって

江東区シルバー人材センターの理念の実現と事業のさらなる発展を目指すための指標となる「第三次中期計画」が、令和4年3月に終了いたしました。

本来ならば、計画の継続性に鑑み、令和4年度より「第四次中期計画」を遂行するため、令和3年度中に策定するものでありましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況等の影響により、中期計画策定委員会及び検討部会での審議が困難となってしまいました。

そのため、今回は1年延期し、令和4年度に策定委員会等による検討をおこない、「第四次中期計画」策定の運びとなりました。

本計画では、「第三次中期計画」を検証し、より実現可能な計画目標値を設定するとともに、イラストやグラフを多用し、より理解しやすく、解りやすい表現に努めております。

本計画の着実な推進を目指すことにより、シルバー人材センターの理念の実現と会員の皆様による参加と就業により、事業のさらなる発展を目指してまいります。

会員の皆様をはじめ、関係者各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

計画策定にご尽力いただきました、中期計画策定委員、アイデア部会及び女性部会の皆様をはじめ、ご協力いただきましたすべての皆様に、心から感謝申し上げますとともに、これからも会員の皆様の能力を活かした、活力ある地域社会づくりに寄与できることを願っております。

令和5年1月

公益社団法人 江東区シルバー人材センター  
会長 関澤 邦正



<b>I 計画策定の背景と目的</b> .....	1
<b>II 計画推進の視点と計画期間</b> .....	2
1. 計画推進の視点 .....	2
(1) 第三次中期計画の評価 .....	2
(2) 社会情勢の変化に応じた適切な対応 .....	7
(3) 会員の事業活動と運営体制の強化 .....	7
2. 計画期間 .....	7
<b>III センターを取り巻く現状</b> .....	8
1. 江東区の人口の推移と推計 .....	8
2. 会員の状況 .....	9
(1) 会員数の推移 .....	9
(2) 会員の年齢構成 .....	9
(3) 入会率 .....	10
(4) 入退会者数 .....	10
(5) 会員入会動機 .....	11
(6) 会員退会理由 .....	11
(7) 江東区・東京都・全国の会員数の推移 .....	12
3. 就業の状況 .....	13
(1) 就業会員数・就業率 .....	13
(2) 契約金額と配分金の推移 .....	13
(3) 家事援助事業 .....	14
(4) 派遣事業 .....	14
(5) 独自事業の状況 .....	15
4. 事故の発生状況 .....	16
(1) 事故件数 .....	16
(2) 就業別傷害事故件数 .....	16
(3) 傷害事故の種類 .....	17
(4) 男女別年齢別傷害事故件数 .....	17

<b>IV 実施計画 取組みの方向性と方策</b> .....	<b>18</b>
1. 会員の増強【重点課題 <b>1</b> 】 .....	18
(1) PR活動の強化 .....	18
(2) 女性会員の増強策 .....	18
(3) 入会説明会の充実 .....	19
(4) 新たな会員制度の創出 .....	19
2. 就業率の向上【重点課題 <b>2</b> 】 .....	20
(1) 就業相談・情報窓口の充実 .....	20
(2) 後継者の育成 .....	20
(3) ワークシェアリングの促進 .....	20
(4) 希望職種別グループ制度の検討 .....	20
(5) 業種別研修の充実 .....	20
3. 契約金額の拡大【重点課題 <b>3</b> 】 .....	21
(1) PR強化による受注拡大 .....	21
(2) 受注の拡大に向けた検討 .....	21
(3) 先進シルバーの好事例の研究 .....	21
4. 事故ゼロを目指した安全管理体制の確立【重点課題 <b>4</b> 】 .....	22
(1) 安全就業基準の周知徹底 .....	22
(2) 安全管理委員会による安全管理体制の確立 .....	22
(3) 健康管理に関する会員の意識向上 .....	22
(4) 安全就業研修の開催 .....	22
5. 独自事業の推進 .....	23
(1) 新たな独自事業の創出 .....	23
(2) 自転車リサイクル事業 .....	23
(3) 刃物研ぎ事業 .....	23
(4) 洋服リフォーム事業 .....	23
(5) パソコン関連事業 .....	23
6. 派遣事業の拡大及び家事援助事業の体制強化 .....	24
(1) シルバー派遣事業の拡大に向けた検討 .....	24
(2) 家事援助事業の体制強化 .....	24
(3) 事業実施に伴う事務局体制の整備 .....	24

7. 組織の活性化	25
(1) 地域班活動の活性化	25
(2) 就業別グループの活性化	25
(3) 会員交流の促進	25
(4) 就業紹介動画の作成	25
(5) 会員向け講座の開催	25
8. 会員研修の充実と能力開発の推進	26
(1) 接遇研修	26
(2) リーダー研修	26
(3) 実務研修	26
9. 地域貢献活動の推進	27
(1) 様々なボランティア活動	27
(2) ボランティア活動表彰制度	27
<b>V 計画の目標</b>	<b>28</b>
<b>VI 計画の推進に向けて</b>	<b>29</b>
1. 会員一人ひとりが計画の推進者として	29
2. 計画の進め方	29
<b>VII 資料</b>	<b>30</b>
1. 第四次中期計画策定委員会設置要綱	30
2. 第四次中期計画策定委員会	32
(1) 委員名簿	32
(2) アイデア部会名簿	33
(3) 女性部会名簿	34
3. 審議経過	35

# I

## 計画策定の背景と目的

シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した「就業機会の提供」をするとともに、高齢者がボランティア活動をはじめとする社会参加・社会貢献を通じて、健康で生きがいのある生活の「生涯現役社会」の実現と、地域社会の福祉の向上・活性化を目指しています。

当センターは、これまで、平成19年度から平成23年度までの新中期計画（シルバーバトン21計画）、平成24年度から平成28年度までの第二次中期計画、平成29年度から令和3年度までの第三次中期計画に基づき、堅実・着実に事業を進めてまいりました。

しかしながら、令和元年末に世界で最初の患者が報告されてから、瞬く間に世界中にパンデミックが拡がった新型コロナウイルス感染症は、当センターの事業活動にも多大な影響が生じることとなりました。

さらに、令和5年10月から実施される消費税のインボイス制度についても、影響を最小限に抑えていかなければなりません。

このように、現在、当センターは社会情勢への対応と変革が求められており、また、定年延長などによる高齢者を取り巻く雇用環境の変化等により、会員数の減少傾向が続くなど、社会経済状況等に必ずしも十分に応えられる状況にあるとは言えません。

こうした状況において、今後も多様化・複雑化する地域社会のニーズに的確に対応するとともに、将来を展望した目標のもと事業を進めていく必要があります。

本計画は、前計画を検証するとともに、地域や社会情勢の変化に対応しながら、地域に根差した事業や活動を展開し、さらなる質の高いサービスの提供を図るため策定いたしました。



## Ⅱ

# 計画推進の視点と計画期間

## 1. 計画推進の視点

第四次中期計画策定にあたり、第三次中期計画について検証を行い、課題の取り組みについて方向性等の検討を図りました。また、社会情勢の変化に対応すべく、会員の事業活動と運営体制の強化に取り組みます。

### (1) 第三次中期計画の評価

#### 重点課題

★評価… A：達成 B：ほぼ達成 C：未達成

#### 重点課題1 会員の増強

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	評価
目標		2,850人	2,900人	2,950人	3,000人	3,100人	—
実績		2,663人	2,608人	2,575人	2,448人	2,455人	C
増減		△187人	△292人	△375人	△552人	△645人	
内 訳	男	1,705人	1,682人	1,665人	1,594人	1,582人	
	女	958人	926人	910人	854人	873人	

要因…年金の支給開始年齢の引き上げ、雇用の延長など高齢者の生活を取り巻く変化に加え、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や、社会参加をためらう意識の増大が会員の増加に繋がらなかった理由と考えられます。また、入会説明会のアンケート結果で入会をしなかった方の意見では、「自分の経験を生かした仕事が無い」「空いている曜日に希望する仕事が無い」が理由として多かった。

#### 重点課題2 就業率の向上

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	評価
目標		80.5%	81.0%	81.5%	82.0%	83.0%	—
実績		81.9%	83.4%	84.0%	82.1%	83.9%	A

要因…就業相談会の実施により、就業に繋がった会員も多かったことや、ワークシェアリングの実施により就業率向上へ繋がり、目標を上回ることが出来た。

#### 重点課題3 契約金額の拡大

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	評価
目標		11億2,000万円	11億4,000万円	11億6,000万円	11億8,000万円	12億0,000万円	—
実績		11億100万円	11億2,500万円	11億4,500万円	10億7,374万円	11億3,610万円	B

要因…各種媒体のPRにより、新規受注に繋がったものも多かったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等の影響により、就業の一部中止や発注の一部減少及び会員の不安等による就業の自粛があり、目標を達成できなかった。

項目	評価	方向性
<b>① 会員の増強</b>		
(1) PR活動の強化	C	「目指せ会員3,000人」や会員紹介者に対する表彰制度の設置、様々な媒体を活用した広告掲載、入会説明会等の各PRを実施し、一定の成果はあったものの高齢者が見る媒体や、効果的な方法の検討が必要である。
(2) 女性会員の増強策	C	家庭内のことを受注する家事援助事業は、福祉関係団体からの問い合わせもあり受注に繋がっている。また、女性向けの講座を実施したが、定員を超える申し込みがあり大盛況ではあったものの、「カルチャー教室」になってしまい会員への登録が少なく、女性会員の会員増強には繋がっていない。新たな増強策の検討が必要である。
(3) 入会相談会の充実	B	入会説明会を定期的に行い、就業現場紹介動画等を入会説明会で活用し、分かりやすい説明を行ってきた結果、新入会員の増へと繋がり一定の成果は出ている。しかし、コロナ禍の影響もあり、シルバー体験講習会及び新たな就業現場の動画作成が未実施となり、今後の課題として残った。
<b>② 就業率の向上</b>		
(1) 就業相談・ 情報窓口の充実	A	定期的就業相談会を実施した結果、相談者の大半が就業に繋がった。「サロン」については、会場の都合もあり検討も行ったが具体化が出来ず、未実施となったが、会員が集まる就業相談会において待合室をサロン風にして試みた。「サロン」は、長期的な課題として次期計画では見送る。
(2) 後継者の育成	B	「後継者の育成」のための「就業体験」については、コロナ禍の影響もあり未実施となったが、就業現場レポートを「生きがい」に掲載し、会員募集を行った。継続的な周知が必要である。
(3) ワークシェアリング の促進	B	各職種でワークシェアリングを実施したが、会員不足により一部の職種において実施が出来ていない。また、就業相談会を定期的実施した結果、就業に繋がった方も多くいる。継続的な実施が必要である。



項目	評価	方向性
<b>③ 契約金額の拡大</b>		
(1) PR強化による受注拡大	A	各種広告媒体を活用したPR、こどもまつりや区民まつりに参加しPR活動を行った結果、新規受注に繋がった。また、令和2年9月にホームページのリニューアルを行った。より効果的なPR実施のため、媒体や内容の検討が必要である。
(2) 家事援助事業の拡大	B	家事援助事業のチラシを増刷しPRを行った結果、順調に実績が伸びていたが、令和2年度はコロナ禍の影響もあり実績が減となった。今後は「女性会員の増強」と共に「需要と供給」のバランスを考慮した各PRが課題である。
(3) シルバー派遣事業の新規参入に向けた検討	B	平成30年度より派遣事業を開始し、継続受注と単発受注の実績があるが、更なる新規受注の拡大、請負受注から派遣事業への切り替えの検討などが課題となった。
(4) 先進シルバーの好事例の研究	C	コロナ禍の影響もあり未実施となっている。今後、好事例の研究と先進シルバーの視察が課題となり、コロナ感染が落ち着いてから、検討が必要である。
<b>④ 事故ゼロを目指した安全管理体制の確立</b>		
(1) 安全就業基準の周知徹底	B	「生きがい」において事故事例の紹介及び「なぜなぜ分析」を活用し、就業現場へのフィードバックや自転車利用安全のチラシ挟み込みを行った結果、自転車事故の減に繋がった。安全就業の周知を含め、安全に対する周知方法について検討が必要である。
(2) 安全管理委員会による安全管理体制の確立	C	コロナ禍の影響もあり就業現場パトロール回数増に至らなかった。また、ヒヤリ・ハット事例の収集及び分析の周知方法について課題となった。
(3) 健康管理に関する会員の意識向上	B	健康診断の受診勧奨等「生きがい」により周知を行った。健康管理に関する研修については、参加者に偏りがあり、募集方法について課題となった。

項目	評価	方向性
<b>⑤ 独自事業の推進</b>		
(1) 自転車リサイクル事業	C	区の撤去自転車の減少の影響もあり、確保台数が減となった。新たに従事する会員の定着率が悪く、従事会員の後継者問題が課題となった。
(2) 刃物研ぎ事業	B	区民まつり等のイベントに参加しPRが出来たが、新たに従事する会員の定着率が悪く、従事会員の後継者問題が課題となった。
(3) 洋服リフォーム事業	B	仲間同士で情報提供し合い技術の向上が図れたが、新たに従事する会員の定着率が悪く、従事会員の後継者問題が課題となった。
(4) 史跡・観光ガイド事業	C	関係機関等との連携が困難となり、新コースの開拓及びPRも出来なかった。現在の就業会員は2名と少なく、史跡・観光ガイド事業継続の検討が課題となった。
(5) パソコン関連事業	B	新たなコースの新設や区報等により受講生の募集を行い順調に推移していたが、コロナ禍の影響により感染拡大防止の観点から中止している。コース内容の検討と再開を見据えたPRが課題となった。
<b>⑥ 組織の活性化</b>		
(1) 地域班活動の活性化	B	平成29年度より地域貢献活動表彰を開始し地域班活動の活性化に取り組んだ。会員証交付式終了後には、地区部長による各地域の説明を行っている。各地域の「サロン」については、会場確保と運営方法が難しく未実施となり、長期的な課題として次期計画では見送る。
(2) 仕事別グループの活性化	A	グループリーダー研修を行い、リーダーの役割や事業理念の醸成を図った。新たな会員を募集するため、会員証交付式にて募集中の就業紹介や、就業相談会を実施し、就業会員の募集を行った。引き続き研修の内容と周知方法について検討が必要である。

項目	評価	方向性
<b>⑦ 会員研修の充実と能力開発の推進</b>		
(1) 接遇研修	A	就業への意識の高揚を図るとともに、トラブルを未然に防ぐための接遇研修を実施した。また、コロナ禍の対応については、接遇研修を中止し、ポイントを絞った資料を対象会員へ配布し周知を行った。今後も内容の見直しを行いながら実施を継続することが重要である。
(2) リーダー研修	A	グループリーダー研修を行い、リーダーの役割や事業理念の醸成を図った。また、コロナ禍の対応については、リーダー研修を中止し、個別に資料を配付し、対応を行った。今後も内容の見直しを行いながら実施を継続することが重要である。
(3) 実務研修	B	スポーツ施設管理AED実務研修及びSTOP実務研修を行った。研修内容について、業務に合った研修内容となるよう研修内容の見直しが課題となった。
<b>⑧ 地域貢献活動の推進</b>		
(1) 様々なボランティア活動	A	清掃ボランティア活動等、様々なボランティア活動を行い、好評を得ている。一部、コロナ禍の影響により中止した。活動内容の周知と参加会員の募集方法の検討が必要である。
(2) ボランティア活動表彰制度の導入	A	表彰に関する運用基準を平成29年4月1日に施行し、表彰者と参加会員から好評を得ており、ボランティア活動へのやる気に繋がっている。継続実施することが重要である。

## (2) 社会情勢の変化に応じた適切な対応

中期計画を着実に推進していくためには、社会情勢の的確な把握に努め適切に対応していくことが求められます。近年は、夏場の猛暑や大雨等の気候変動に起因する自然環境や新型コロナウイルス感染症の影響等、会員の就業環境に多大な影響を及ぼす状況が続いています。

また、高齢者等の雇用の安定等に関する法律の一部が改正され、令和3年4月より65歳から70歳までの高齢者就業確保措置を講ずることが企業の努力義務となるなど、高齢者を取り巻く就業の状況は、大きな変革の時を迎えています。

このような状況の中、安定的かつ発展的にセンター運営ができる体制を強化するとともに、会員が安心安全な就業の実現を図れるよう計画の推進に取り組みます。

## (3) 会員の事業活動と運営体制の強化

中期計画の目標達成のためには、会員による自主的、主体的な事業活動の強化や各部会、委員会等の活性化及び事務局の支援体制の強化が必要です。

そのため、会員、役員及び事務局が一体となって運営体制の強化に取り組みます。

## 2. 計画期間

計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間です。

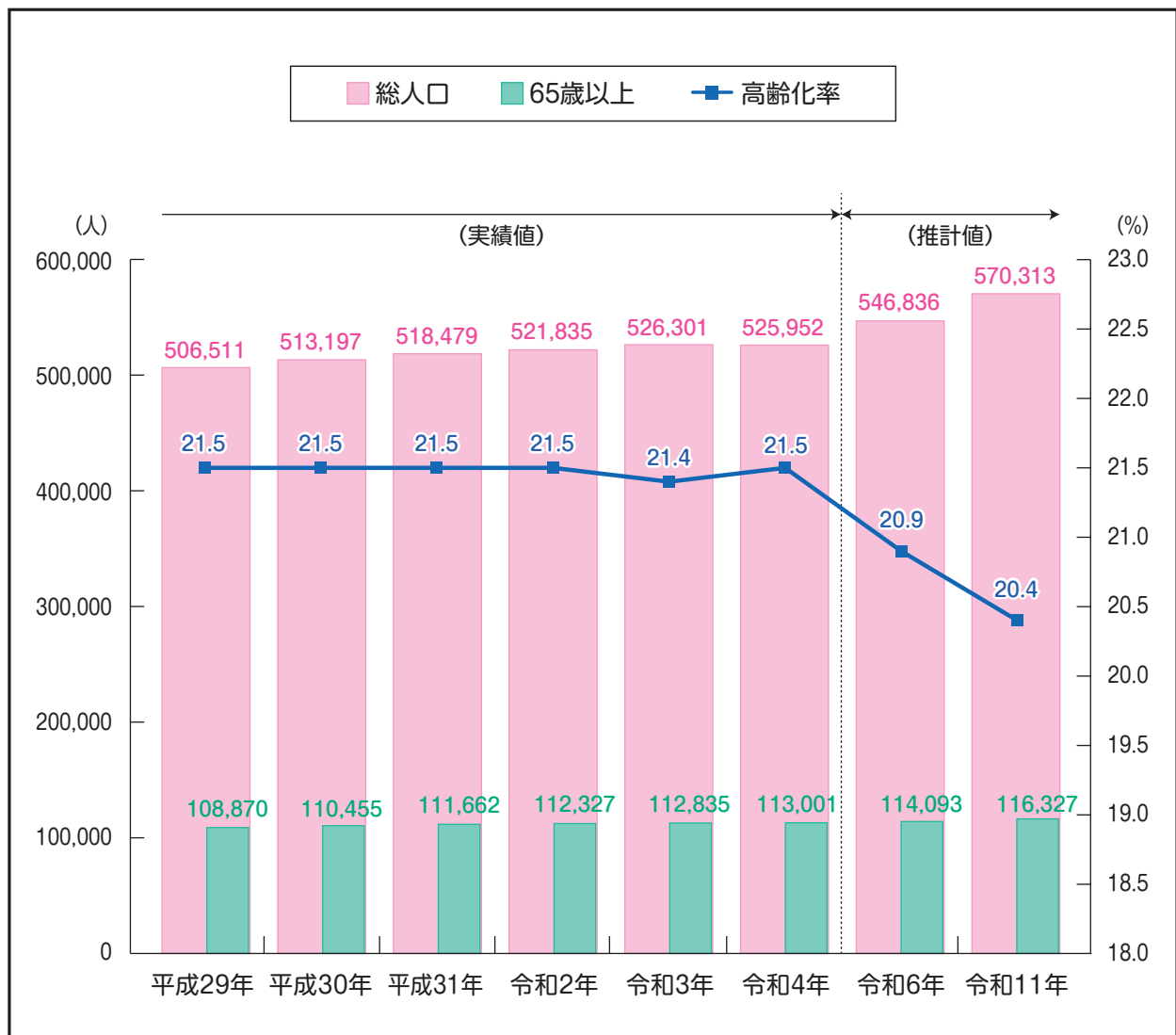
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
				 ★次期計画策定

### Ⅲ

## センターを取り巻く現状

### 1. 江東区の人口の推移と推計

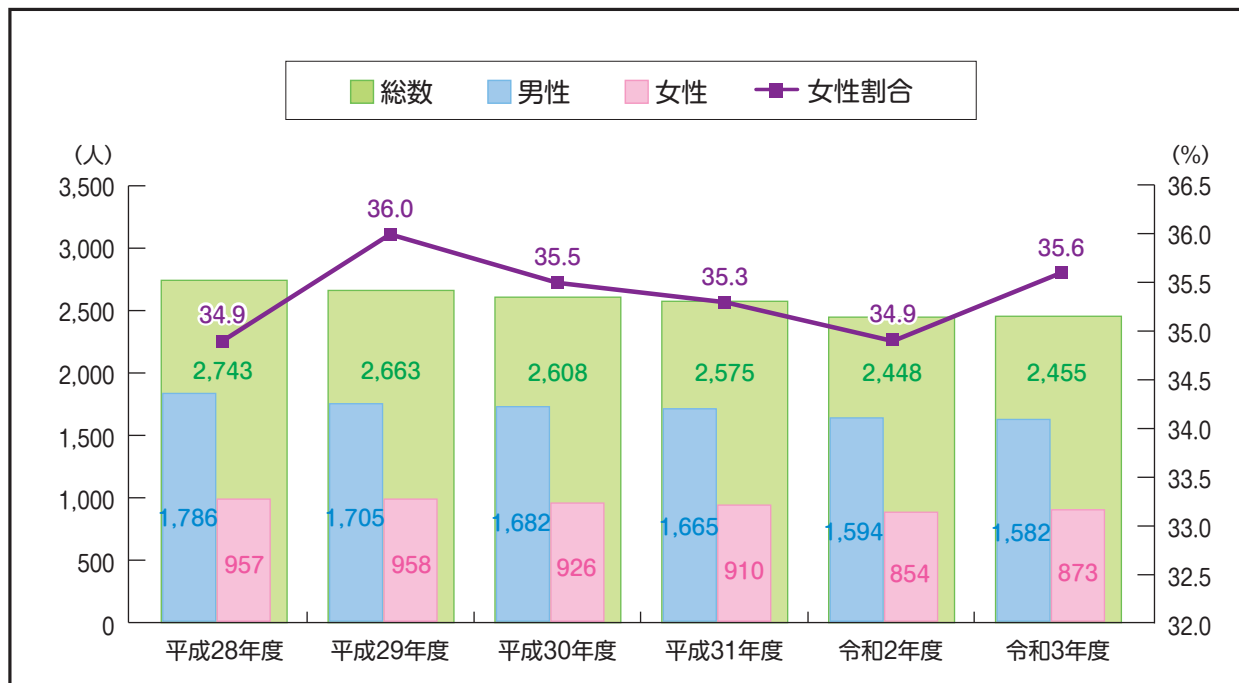
江東区の人口は、令和4年1月に525,952人を数え、令和11年には、57万人を超えると推計されています。また、65歳以上の割合を示す「高齢化率」は、既に20%を超え、引き続き、高い水準で推移していくと予想されています。



## 2. 会員の状況

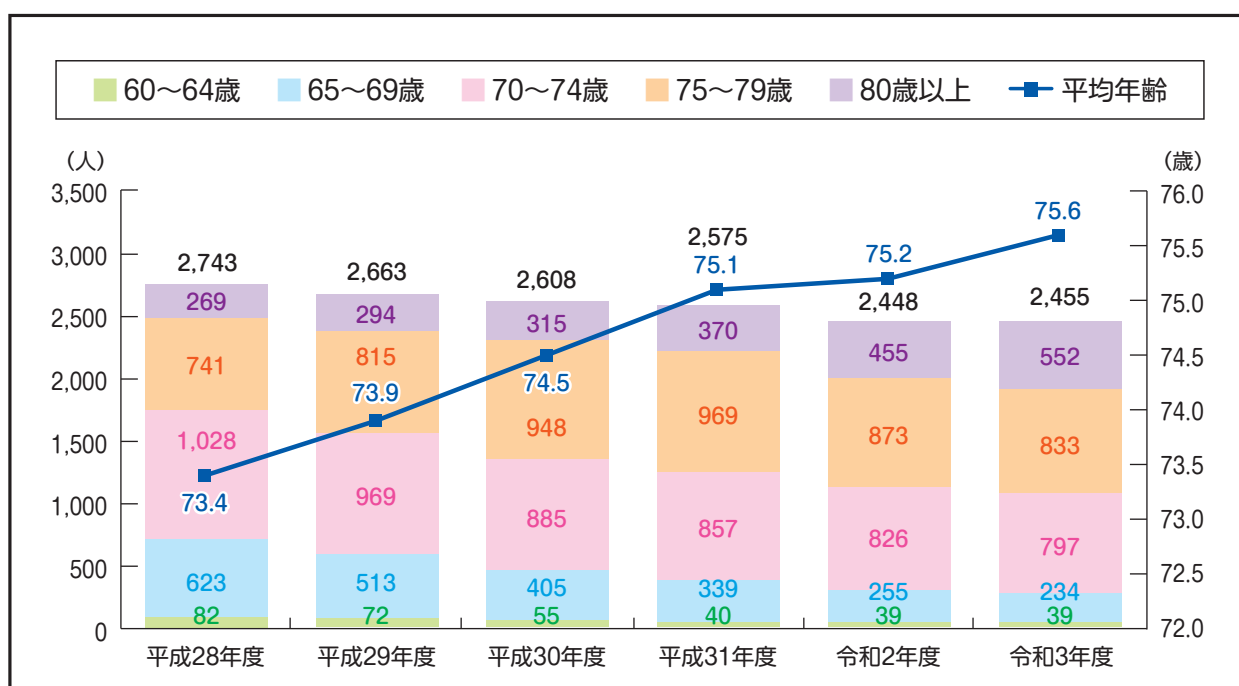
### (1) 会員数の推移

会員数は、ここ数年減少傾向にあります。令和3年度は令和2年度との比較で、7名(0.3%)の増加となりました。



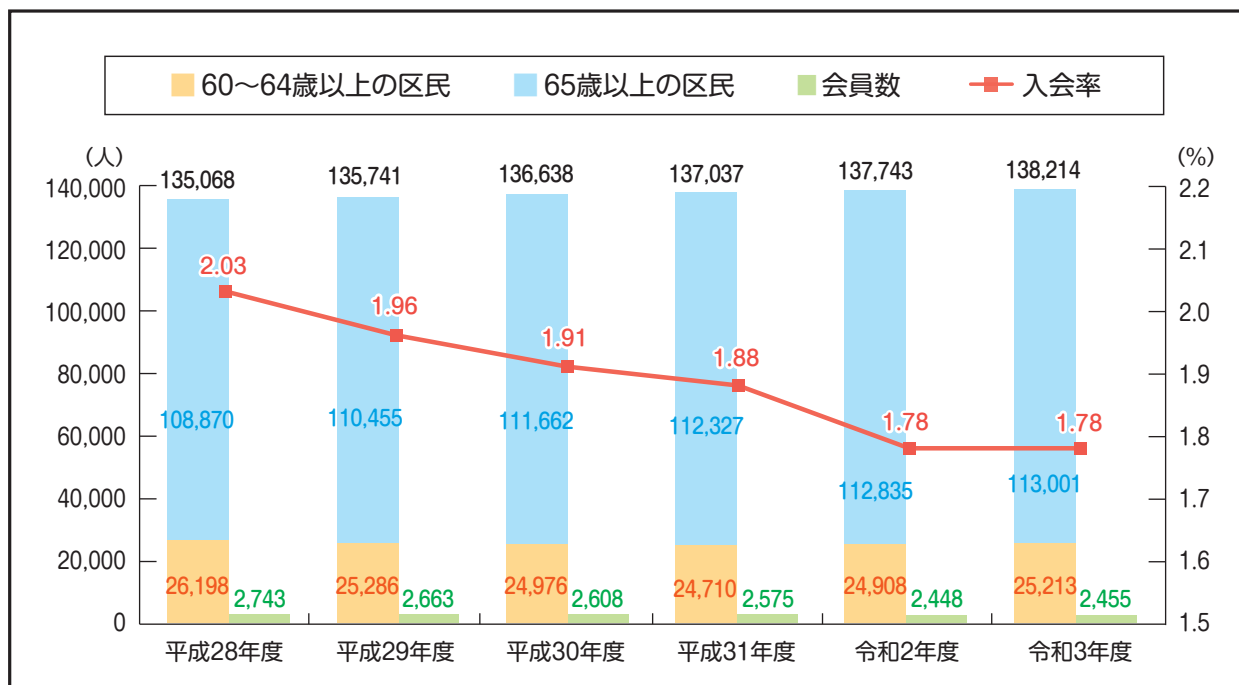
### (2) 会員の年齢構成

80歳代以降の層は増加し、60歳代、70歳代は減少しています。また、会員の平均年齢は引き続き上昇傾向にあり、会員の高齢化が進んでいます。



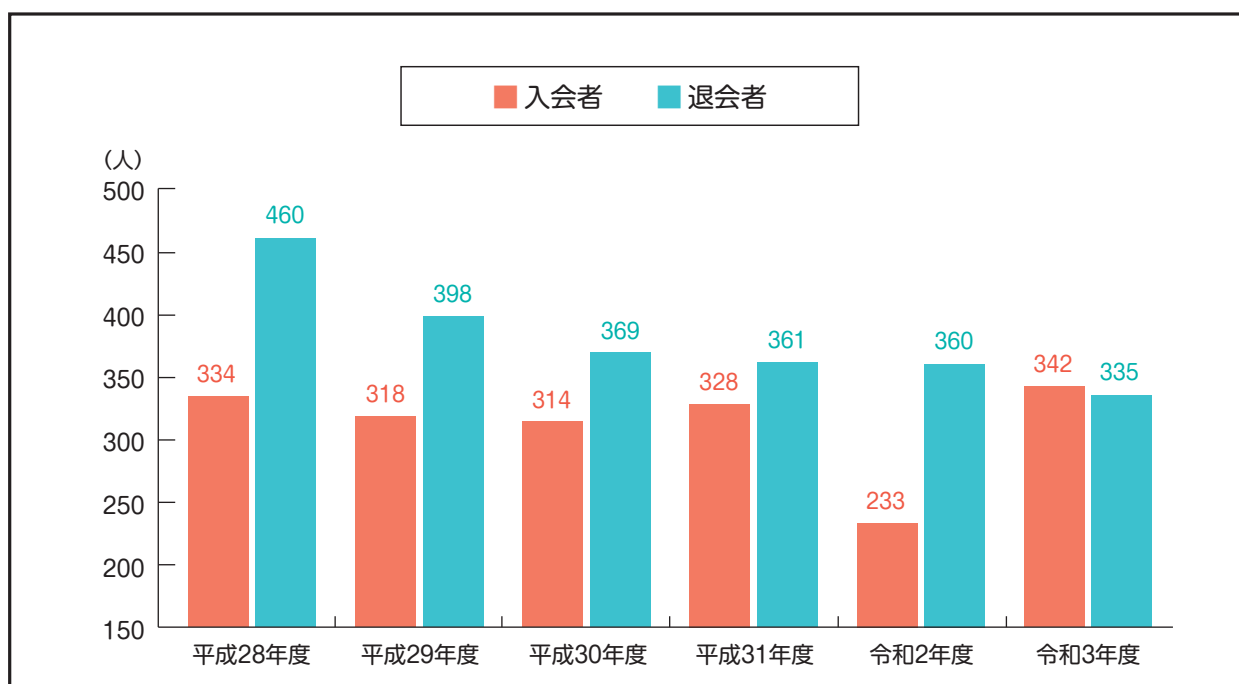
### (3) 入会率(60歳以上の区民に占める会員の割合)

60歳以上の区民のうち、センターに入会している割合は、令和3年度で1.78%となっています。60歳以上の区民の数は増えているものの会員数が伸び悩み、入会率は5年前と比較し、0.25ポイント減少しています。



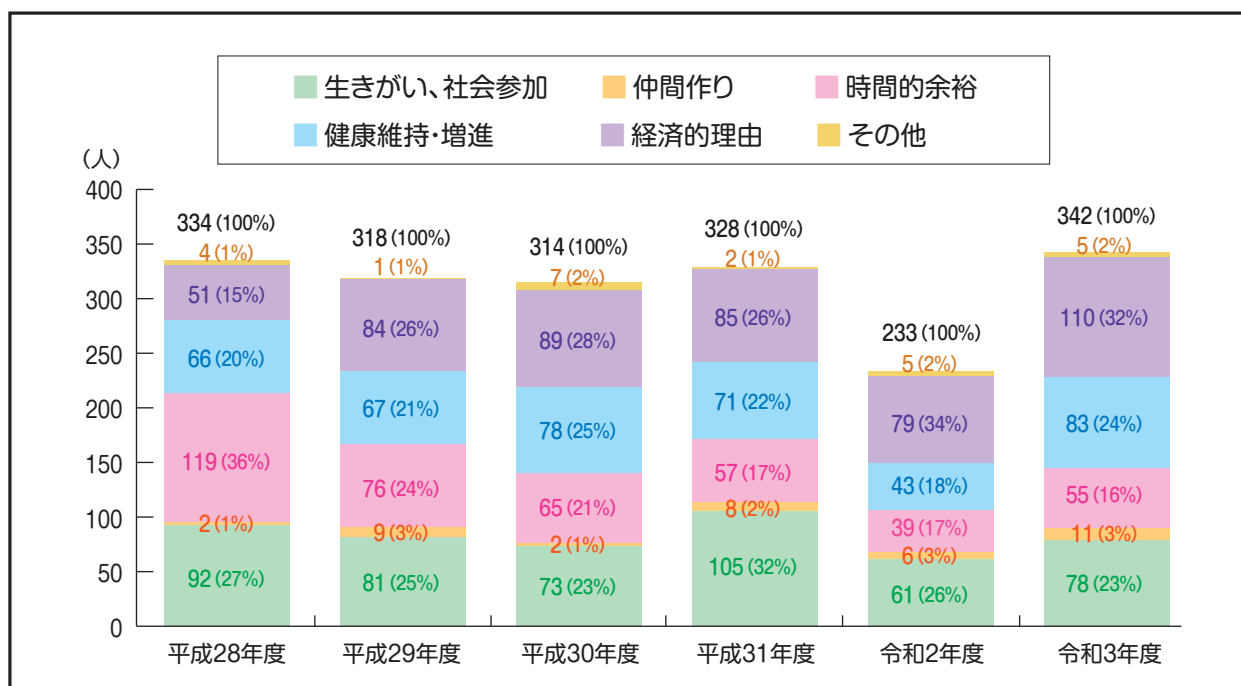
### (4) 入退会者数

過去5年の入退会者数は、入会者数が退会者数を毎年下回っていましたが、令和3年度は、9年ぶりに入会者数が退会者数を上回りました。



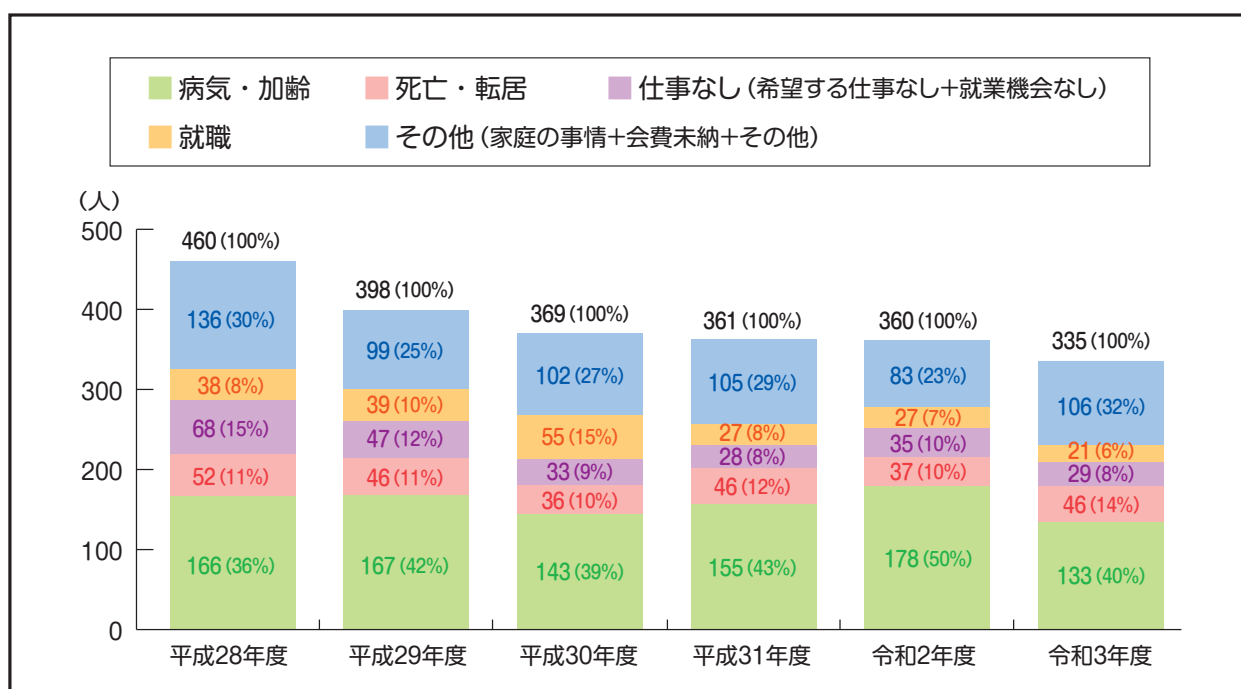
## (5) 会員入会動機

令和2年度及び3年度は、コロナ禍による就業環境への影響により、経済的理由が30%を超え、生きがい、社会参加を上回っています。



## (6) 会員退会理由

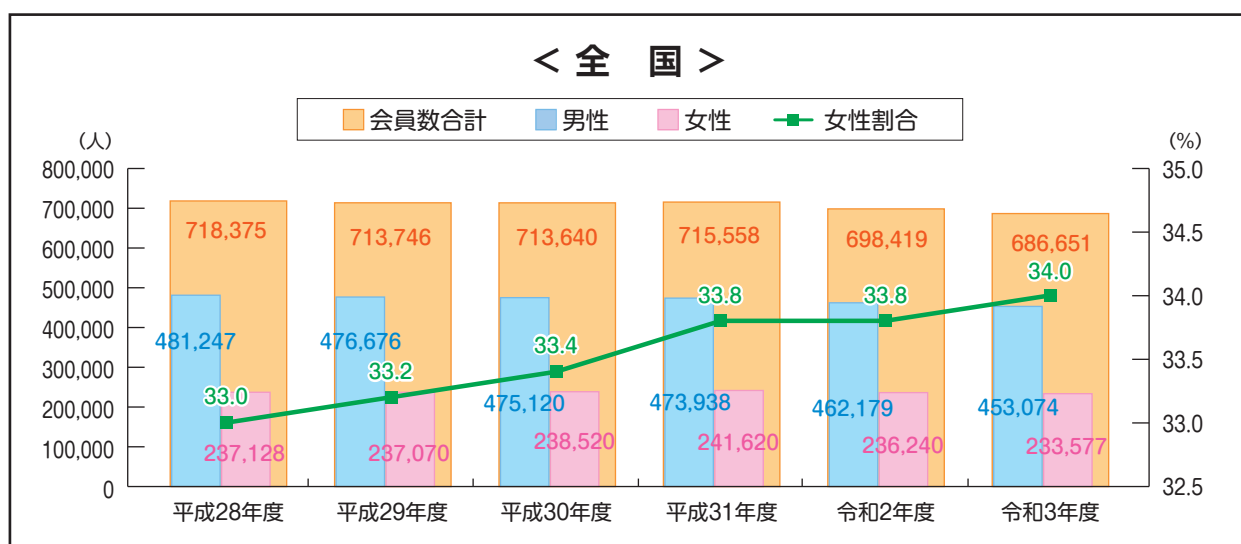
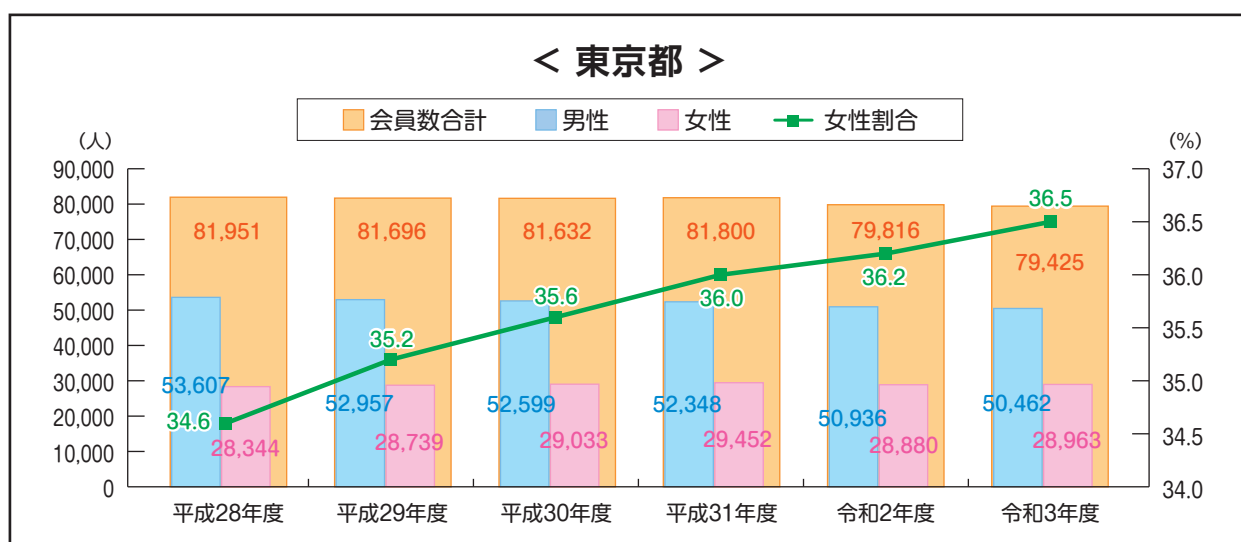
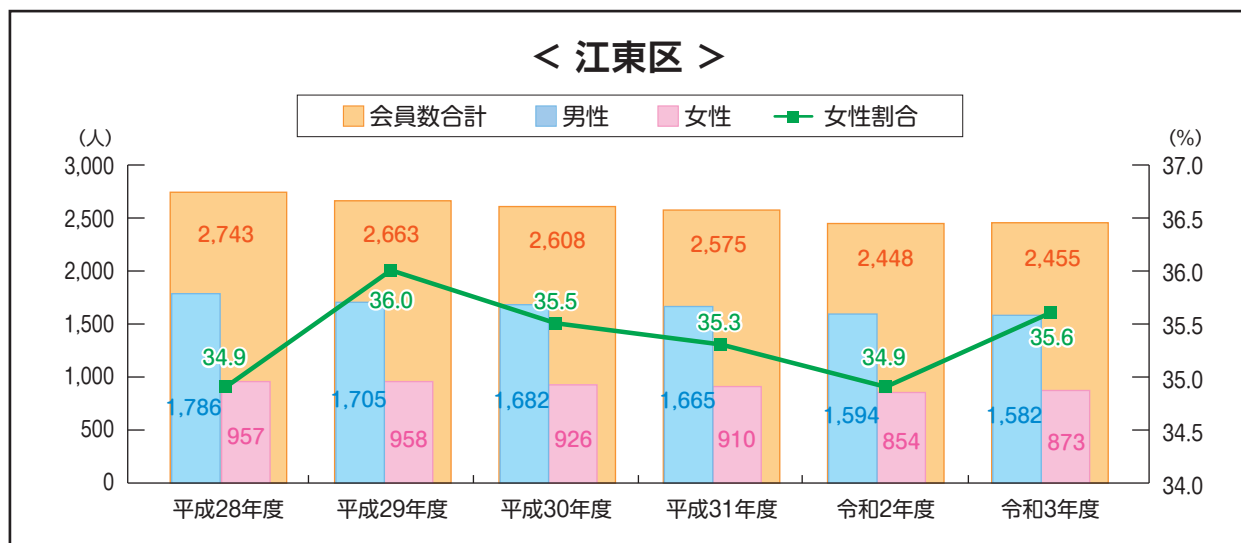
病気・加齢による就業困難が退会理由として最も多く、約40%を占めています。





## (7) 江東区・東京都・全国の会員数の推移

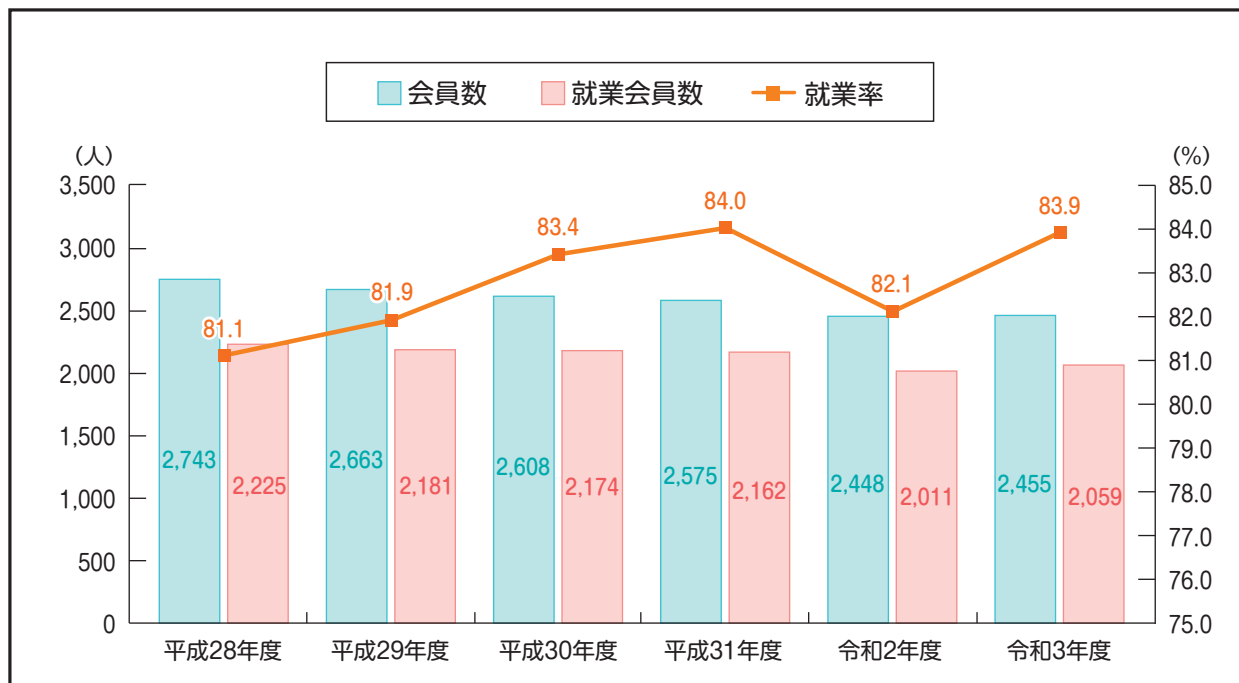
会員数は、新型コロナウイルスの影響を受けた令和2年度が最も減少しましたが、令和3年度は回復傾向となっています。



### 3. 就業の状況

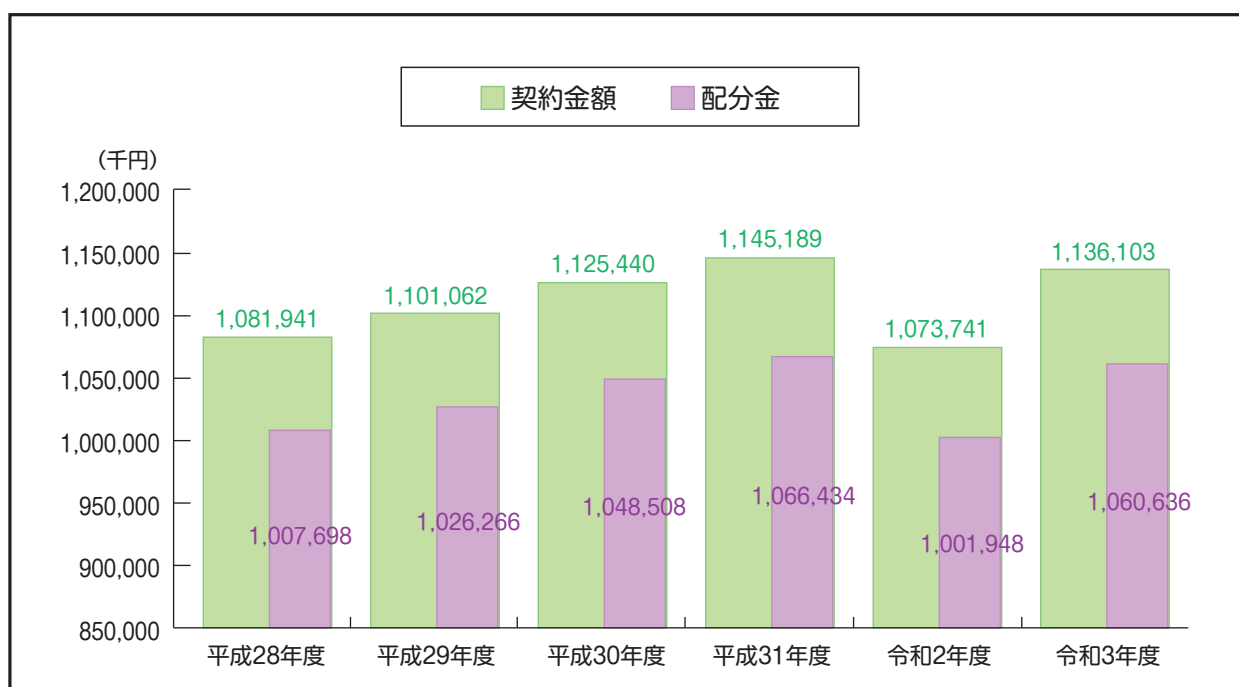
#### (1) 就業会員数・就業率

就業率は、年度内に仕事をしたことのある会員の割合を示すものです。令和3年度は、5年前(平成28年度)と比べて、2.8ポイント上昇しました。



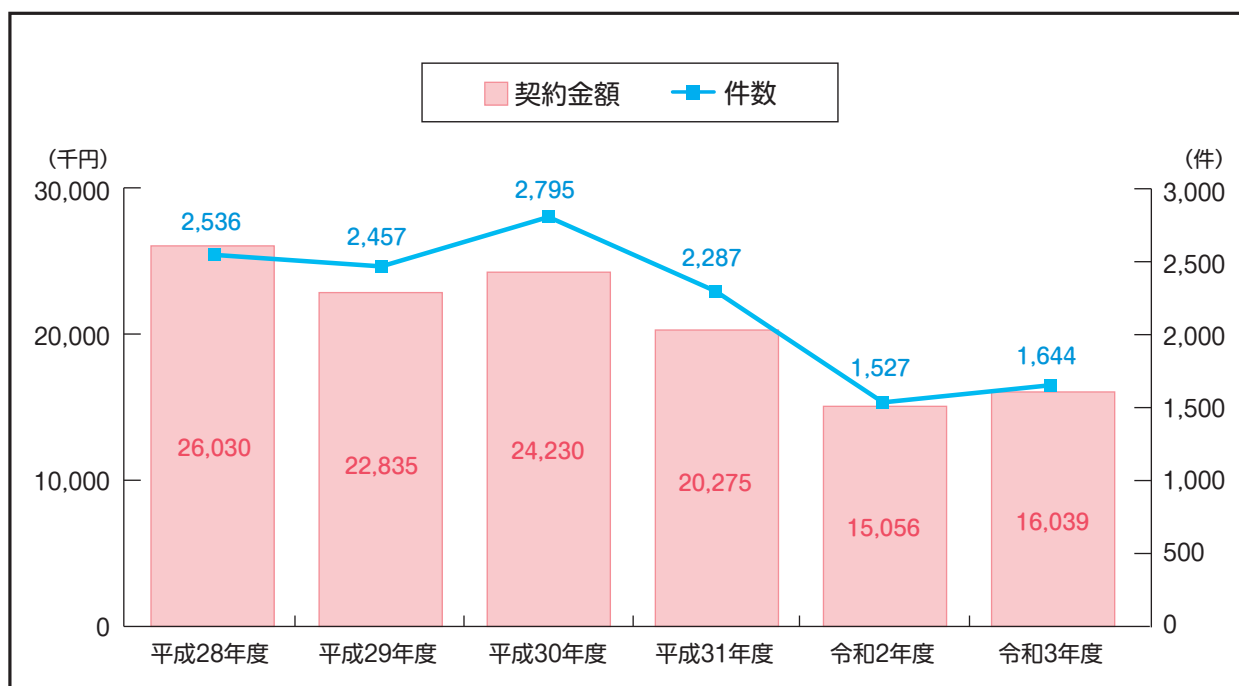
#### (2) 契約金額と配分金の推移

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により減少しましたが、令和3年度は、回復基調となっています。



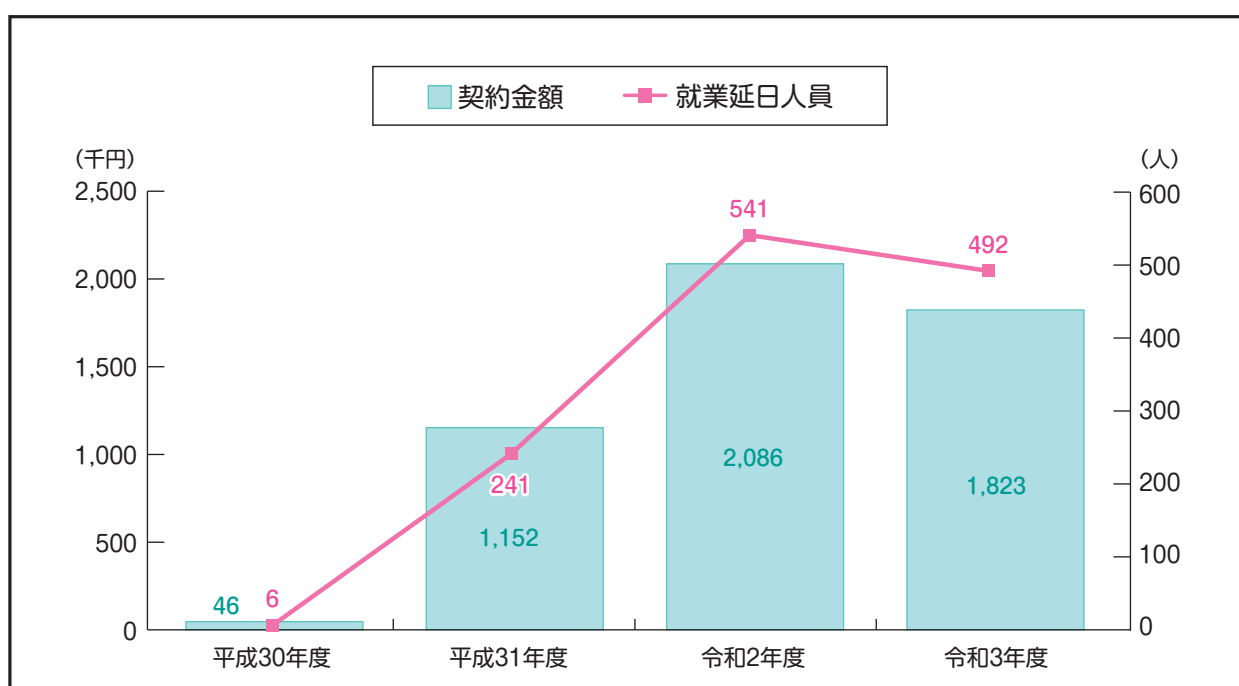
### (3) 家事援助事業

家事援助事業は、家庭内の作業が主なため、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受けることとなりましたが、令和3年度は微増となりました。



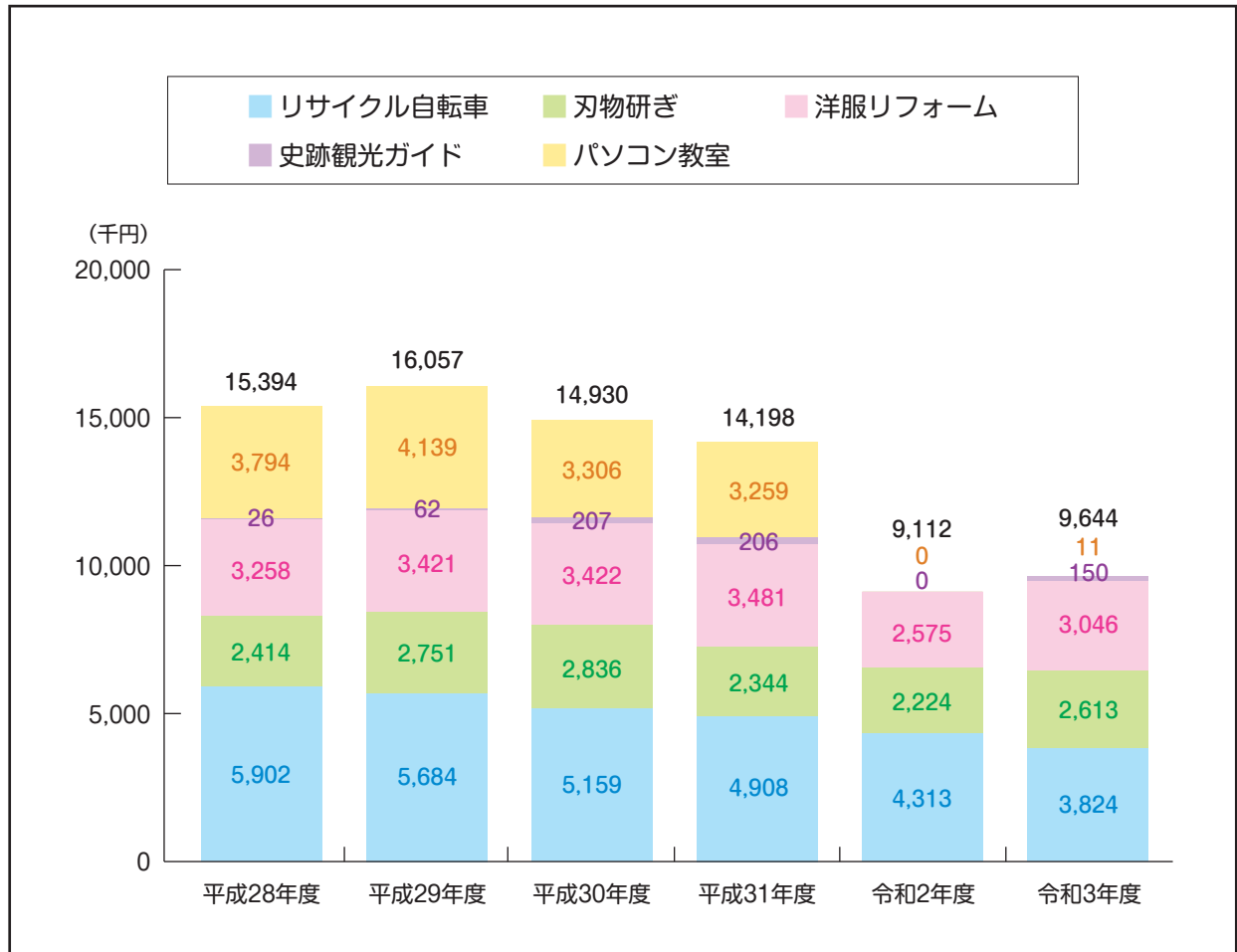
### (4) 派遣事業

派遣事業は、平成30年度から事業を始めましたが、引き続き、多様な就業形態を推進していきます。



## (5) 独自事業の状況

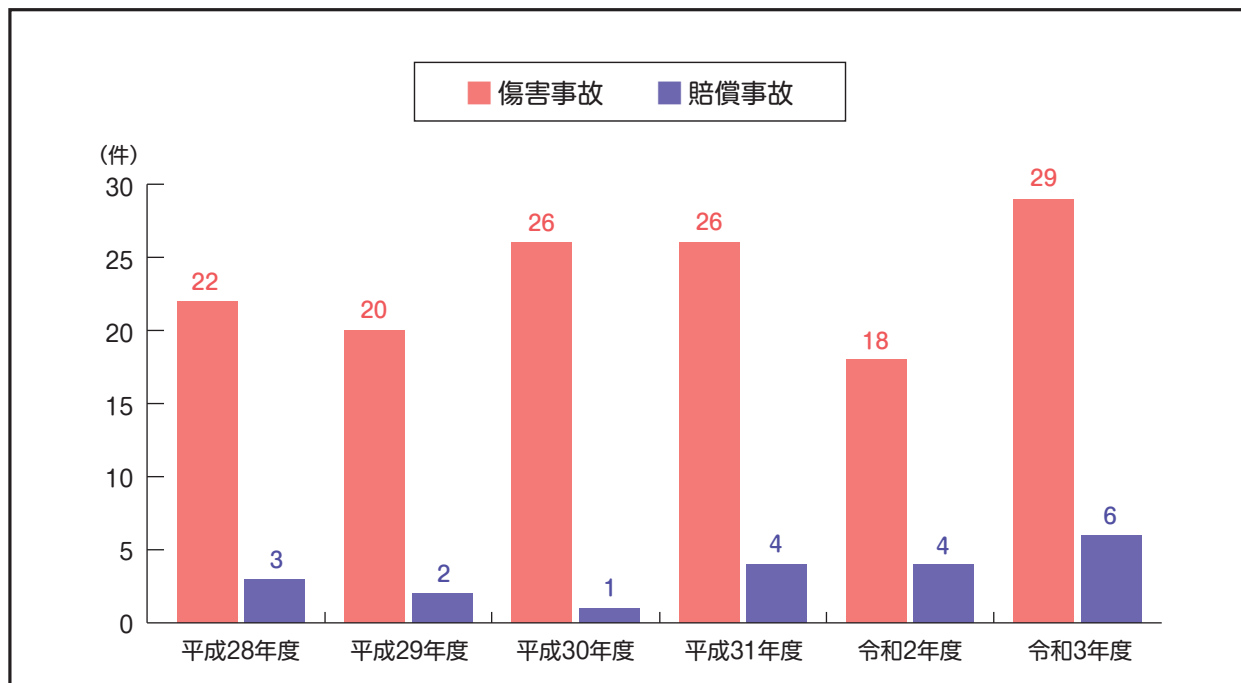
独自事業合計では、令和3年度は回復基調にあると言えますが、リサイクル自転車は、区の放置自転車対策の効果から、中古自転車の受け入れ台数の減少等により、毎年、台数、契約金額ともに減となっています。



## 4. 事故の発生状況

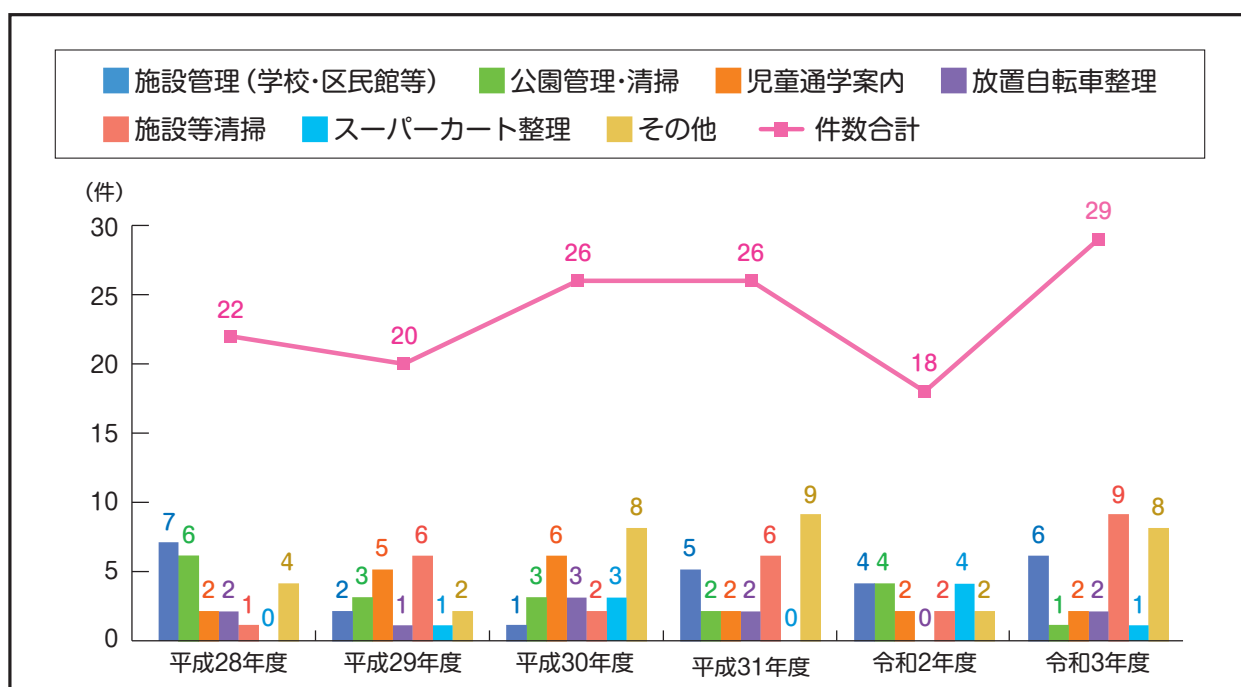
### (1) 事故件数

令和3年度は、降雪日の翌日に転倒事故が7件発生しました。また、賠償事故も毎年発生しています。



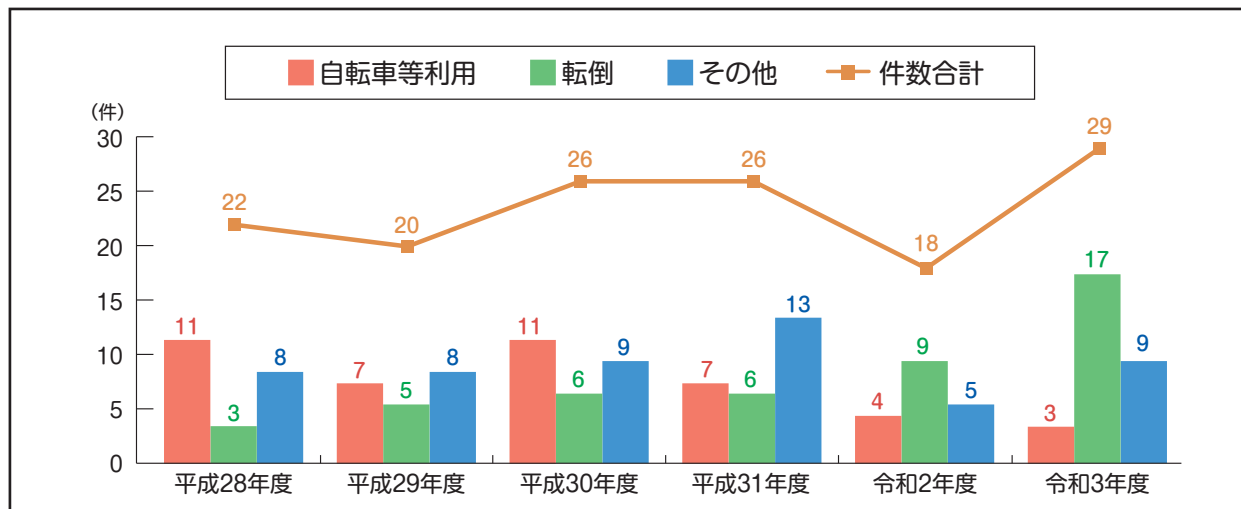
### (2) 就業別傷害事故件数

屋内の施設管理や清掃業務中の従事会員による事故が比較的多く発生しています。



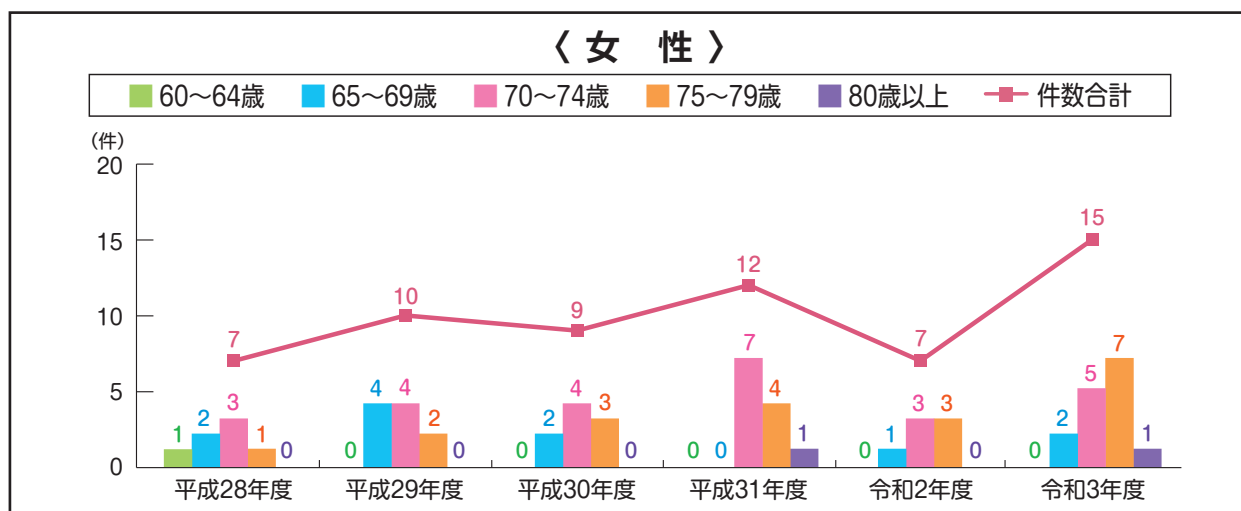
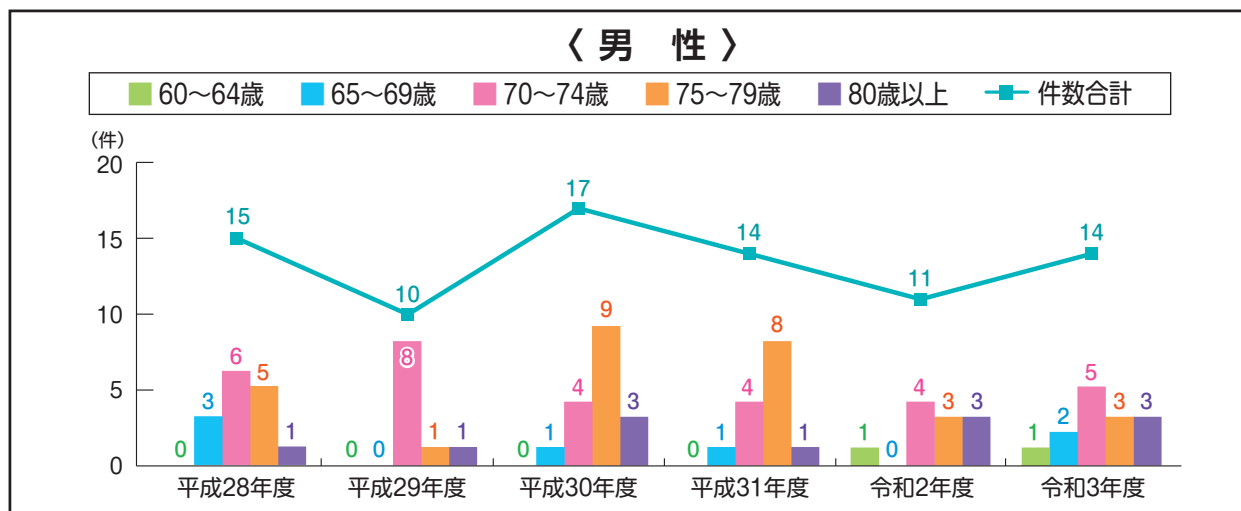
### (3) 傷害事故の種類

令和3年度は、降雪の影響による転倒事故が多く発生しています。また、自転車による事故も多く発生しています。



### (4) 男女別年齢別傷害事故件数

男女共に、70歳代の事故件数が、多く発生しています。



## IV

# 実施計画 取組みの方向性と方策

「Ⅲ センターを取り巻く現状」を踏まえ、次のとおり課題を9項目設定し、これらの課題を解決し、計画目標を達成するために以下の具体的な施策を実施していきます。

これらの施策は、計画を実現していく中で、社会経済状況等の変化に対応しながら、創意工夫を凝らしながら進めていきます。なお、はじめの4項目については、特に、センターの運営の根幹に係わる重点課題として位置付けます。

## 1. 会員の増強【重点課題1】

会員の確保は、シルバー人材センター運営の基盤です。

会員からの紹介による入会の促進、新聞折込チラシ等による入会説明会の案内等PR活動を強化し、会員の増強に努めます。

特に、女性会員増強のため、女性を対象とした入会説明会や就業可能な業務の拡大等を図り、女性会員の活躍できる仕組みづくりに取り組みます。

また、出張入会説明会や新たな会員制度の創出により、加入促進を図っていきます。

### (1) PR活動の強化

- ① 会員からの紹介による入会の促進
- ② 各種広告媒体を活用したPRの推進
- ③ 新聞折込等による加入促進の実施
- ④ 会員による会員募集案内チラシの配布



### (2) 女性会員の増強策

- ① 家事援助などの就業先の確保
- ② 女性を対象とした入会説明会の実施

グループ単位に、女性会員から就業内容等の経験談や質疑応答を行うことにより、話しやすい雰囲気の説明会を開催する。

**活動例** 全体説明後、グループ単位での説明・質疑応答を行う。

- ③ 女性会員の活躍できる仕組みづくり

女性会員が就業可能な業務の拡大や就業機会の確保等により、就業率の向上等を図る。

**活動例** 受付・案内業務の就業先の開拓

### (3) 入会説明会の充実

- ① 入会説明会の実施
- ② 会員入会向け就業現場紹介動画の作成
- ③ 出張入会説明会の実施

入会説明会参加者の利便性向上等により、参加者数の増を図り、加入促進につなげる。

**活動例** 地区の区民館等で開催する「地区入会説明会」の開催

### (4) 新たな会員制度の創出

- ① 会員制度の検討

1月～3月の入会者について、会費の減額を検討する等、新たな入会制度を創出し加入促進を図る。

**活動例** 入会特典キャンペーン

入会者の紹介やボランティアの参加等でポイントを付与し、一定のポイントが貯まったら、年会費相当との交換等を検討する。

**活動例** 会員ポイント制度





## 2. 就業率の向上【重点課題2】

会員の増強とともに就業率の向上は、当センターにとって重要な課題です。

就業相談窓口や就業情報提供の充実により就業率の向上を図るとともに、後継者の育成やワークシェアリングの促進等により、より多くの会員に就業機会を提供します。

また、会員の能力に応じた制度を創出し、就業意識の高揚と就業機会の確保を図ります。

### (1) 就業相談・情報窓口の充実

① 定期的な就業相談会の実施

② 就業情報の提供の充実

就業情報の提供内容の充実により、就業率の向上を図る。

**活動例** 業務内容の動画作成とHPや動画共有サイトからの視聴

### (2) 後継者の育成

① 就業体験の実施

② 機関紙「生きがい」による就業会員募集

### (3) ワークシェアリングの促進

① 各職種における就業人員の拡大

② 未就業会員に対する講習会や研修の充実

### (4) 希望職種別グループ制度の検討

① 希望職種別グループ制度の創出

就業交替や一人就業における急な代替に、対応可能な希望職種別のグループを構築する。

**活動例** 就業待機者グループ、業務別経験者代替グループ等

### (5) 業種別研修の充実

① 就業内容の紹介及び就業体験により、就業ミスマッチを防ぐ

② 技術の習得及び就業機会の拡大

### 3.契約金額の拡大【重点課題3】

契約金額の拡大は、会員の就業機会拡大と当センターの経営安定にもつながります。仕事募集のPR強化や就業可能な領域の拡大等により、受注及び希望職種の拡大を図ります。

▶ ホームページ随時更新中! ▶

#### (1)PR強化による受注拡大

- ①仕事募集広告媒体の拡充
- ②地域イベントでのPR活動推進
- ③ホームページ・動画共有サイト等によるPR強化



#### (2)受注の拡大に向けた検討

- ①会員の希望にあった仕事の開拓

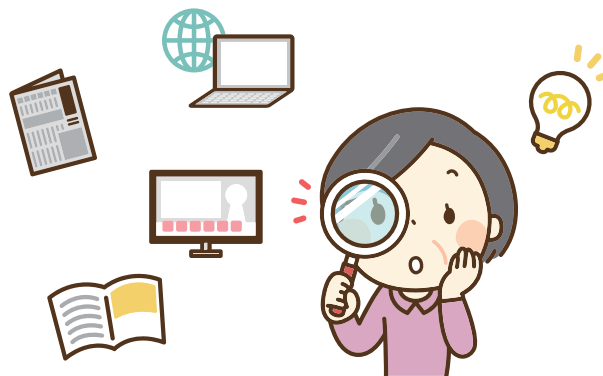
会員の就業可能な領域を開拓し、会員の希望職種の拡大を図る。

**活動例** ▶ 受付・案内業務の開拓

- ②事業実施に伴う事務局体制の整備

#### (3)先進シルバーの好事例の研究

- ①先進シルバーの視察
- ②好事例の積極的導入



## 4. 事故ゼロを目指した安全管理体制の確立【重点課題4】

会員の安全・適正就業は事業運営の基本であり、事故発生の未然防止と安全・適正就業により、安全・安心に就業できる環境づくりを推進していきます。

### (1) 安全就業基準の周知徹底

- ① 機関紙「生きがい」による安全就業啓発の強化
- ② 自転車利用ルールの周知徹底
- ③ 業種別安全就業体制の確立

### (2) 安全管理委員会による安全管理体制の確立

- ① 就業事故現場を含めた定期巡回パトロールの実施
- ② 事故原因の分析と会員へのフィードバック体制の確立
- ③ 危険予知 (KY) シートの活用
- ④ ヒヤリ・ハット事例の周知

### (3) 健康管理に関する会員の意識向上

- ① 健康診断の勧奨
- ② 健康管理に関する研修などの参加促進

### (4) 安全就業研修の開催

- ① 就業事故の理解と意識の向上
- ② 就業事故の回避
- ③ 全就業者を対象に計画的に実施



## 5. 独自事業の推進

当センターは、会員の持つ豊富な経験や知識を生かした自主的・創造的な活動が展開できるよう積極的に支援しています。

今後、新たな独自事業の創出により新規開拓を図るとともに、後継者の育成と人材の確保を行っていきます。

### (1) 新たな独自事業の創出

#### ① 会員へ独自事業の新規提案を募集

「生きがい」等で独自事業の新規提案を募集し、事業化を図っていく。

**活動例** 独自事業アイデア募集

### (2) 自転車リサイクル事業

#### ① 区から受けるリサイクル自転車の安定確保

#### ② 後継者の育成・人材の確保



### (3) 刃物研ぎ事業

#### ① 出店先の新規開拓

#### ② 刃物研ぎ事業のPR強化

#### ③ 後継者の育成・人材確保



### (4) 洋服リフォーム事業

#### ① 技術力の向上

#### ② 洋服リフォーム事業のPR強化

#### ③ 後継者の育成・人材確保



### (5) パソコン関連事業

#### ① 魅力的なコースの企画立案

#### ② パソコン関連事業のPR強化

#### ③ スマートフォン教室の充実

#### ④ 後継者の育成・人材確保



## 6. 派遣事業の拡大及び家事援助事業の体制強化

従来の請負就業から派遣契約により、就業可能な領域を拡大し、会員の希望職種の拡大を図ります。また、家事援助事業の就業会員の増強等により、事業の体制強化を図ります。

### (1) シルバー派遣事業の拡大に向けた検討

#### ① 会員の希望にあった仕事の開拓

派遣契約により就業可能な領域を開拓し、会員の希望職種の拡大を図る。

**活動例** 事務補助、受付・案内業務他

### (2) 家事援助事業の体制強化

- ① 会員への家事援助事業のPR強化
- ② 家事援助就業会員の増強
- ③ 家事援助就業会員のスキル向上
- ④ 家事援助項目別のグループ体制の構築



### (3) 事業実施に伴う事務局体制の整備

## 7. 組織の活性化

当センターの事業活動は、会員自身が自主的・主体的に行動する「自主・自立」による組織運営と、働く場にあって共に助け合いながら、楽しく働くという「共働・共助」による就業を基本理念としています。

また、理事会や地区部長会、地域班長会をはじめ、公共事業や民間事業の仕事別グループが、事務局と連携しながら事業活動を行っています。

特にセンター事業の発展・拡充のためには、会員にとって身近な地域班や仕事別グループの活性化が重要です。

### (1) 地域班活動の活性化

- ① 地域貢献に取り組む会員の意識づくり
- ② 会員証交付式の活用

### (2) 就業別グループの活性化

- ① リーダー研修の充実
- ② 就業別マニュアルの充実・更新
- ③ 「自主・自立」「共働・共助」理念の醸成
- ④ 就業会員の育成

### (3) 会員交流の促進

- ① 地区総会開催時の交流の促進
- ② 会員研修の充実と意見交換会の開催

### (4) 就業紹介動画の作成

- ① 就業現場の会員による紹介動画の作成
- ② ホームページ、動画共有サイト等での視聴

### (5) 会員向け講座の開催

- ① 気軽に参加できる会員向け講座の開催

会員向けの講座を開催し、技術の習得や知識の向上を図る。

**活動例** 刃物研ぎ体験講座、スマホ入門講座、おかたづけ講座等

## 8. 会員研修の充実と能力開発の推進

当センターと東京しごと財団では、会員向けに様々な研修を行っています。

これらの研修では、サービス業としてのプロの自覚を促す接客研修、世話役としてメンバー全体の活動を円滑に進めていく役割を担うためのリーダー研修、技術や技能の向上と能力を開発するための実務研修等を実施しています。

今後も、研修内容の充実と受講率の向上を図っていきます。

### (1) 接客研修

- ① 仕事はプロのサービス業であるという意識の高揚
- ② 安心・信頼・親切を印象付ける就業姿勢の醸成
- ③ 適切な対応方法を知り、トラブルを未然防止

### (2) リーダー研修

- ① 助け合いながら、仲良く楽しく働く「共働・共助」の理念の徹底
- ② リーダーシップの育成
- ③ 会員の意見・要望などに対する調整能力の育成

### (3) 実務研修

- ① 技術や技能の向上
- ② 新たな能力開発
- ③ 新しい事業に向けたチャレンジ精神の醸成
- ④ 就業1年目研修の実施



## 9. 地域貢献活動の推進

当センターは、地域社会を支える担い手としてボランティア活動等、様々な地域貢献活動を行うとともに、今後も活力ある地域社会の創造に向けて積極的に取り組みます。

### (1) 様々なボランティア活動

#### ① 新たなボランティア活動の創出

新たなボランティア活動を創出し、地域活動の促進を図る。

**活動例** 小学生を対象とした「夏休み寺子屋」事業

#### ② 清掃ボランティア活動

#### ③ 声かけ訪問

#### ④ 区主催イベント参加活動

#### ⑤ 東京マラソンまつり

#### ⑥ 寄付金活動

### (2) ボランティア活動表彰制度

#### ① ボランティアリーダーとしての功績に対する表彰

#### ② ボランティア活動の功績に対する表彰







## 計画の目標

センターを取り巻く現状と課題を踏まえ、本計画を確実に推進していくために重点課題に掲げた「会員数」、「就業率」、「契約額」、「傷害事故」について、令和3年度末の実績から第四次中期計画実施を基に、最終年度（令和8年度）に実現可能と想定される計画目標値を次のとおり設定します。

### 令和8年度末における計画目標値

会員数

2,800人

◆令和3年度会員数…2,455人

就業率

85%

◆令和3年度就業率…83.9%

契約額

12.4億円

◆令和3年度契約額…11億3,600万円

傷害事故

10件未満

◆令和3年度傷害事故…29件

## VI 計画の推進に向けて

### 1. 会員一人ひとりが計画の推進者として

中期計画の目標達成を実現するためには、昨今の厳しい社会経済情勢のなかで、センター事業の質の維持・向上と運営の健全化を目指して、中期的視野に立ち明確な運営方針としての目標や課題を提示し、業務を重点的、効果的に遂行することが重要です。

また、会員一人ひとりが計画の推進者として、就業、地域貢献や組織活動などに参画し、実効性を伴った取組みを行うことにより、相互信頼をもとに共通理解を深める関係の構築が図られ、組織力・行動力の強化につなげていきます。

### 2. 計画の進め方

中期計画を実効性あるものとして実施し、推進を図るためには、「計画、実行、点検・評価、改善」というサイクルを確立し、実施していくことが必要です。

そのためには、運営組織の機能化や組織の特性に対応したマネジメントを実施していくとともに、的確に評価・改善を図り、目標の達成に努めます。



## 1. 第四次中期計画策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、公益社団法人江東区シルバー人材センター（以下「センター」という。）が設置する第四次中期計画策定委員会（以下「委員会」という。）の設置に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(所管)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所管する。

- (1) 第四次中期計画の策定に関すること。
- (2) その他計画策定のため必要と認めること。

(委員)

第3条 委員会の委員は、各専門部会の部会長及び副部会長、安全管理委員会の委員長及び副委員長並びに常務理事を充てる。

- 2 委員の任期は委嘱の日から第四次中期計画策定の日までとする。
- 3 委員に欠員が生じたときは、補欠選任することができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員のうちから互選により選出する。

- 2 委員長は委員会の議長となり、会務を統括する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときはその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、会議を運営する。

- 2 委員長は、委員会を招集しようとするときは、委員に対し、開催日の5日前までに、書面等により、あらかじめ日時、場所及び議題その他必要な事項を通知するものとする。なお、委員会の席上、次回の開催予定を決めたときは、これを省略することができる。
- 3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。ただし、議題につき、あらかじめ書面をもって意見を表明した委員は、出席者とみなす。
- 4 委員会の議事は、議長を除く委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 5 委員長は、必要と認めたときは委員会に諮り、委員以外の者を参考人として会議へ出席させ、資料の提供、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

(部会の設置)

第6条 委員会は、センター事業の普及啓発や女性会員の入会の促進等を図るため次の部会を置き、必要に応じて部会からの意見を求めることができる。

(1) アイデア部会

(2) 女性部会

- 2 部会員の数は、それぞれ8名程度とし、会長が委嘱する。
- 3 部会には部会長を置き、部会員の中のうちから互選により選出する。
- 4 各部会は、次に掲げる事項を任務する。

(1) アイデア部会

ア 第四次中期計画での新たな取組み案について

- ①会員の増強策
- ②会員の求める就業策

イ その他

(2) 女性部会

ア 女性会員の特性を活かした就業・事業参加案について

イ 女性会員のネットワーク作りについて

ウ 家事援助事業に関すること

エ その他

(会議録)

第7条 委員会及び部会の会議については、その事項、経過及び結果の要点を記載した記録を作成するものとする。

(庶務)

第8条 委員会及び部会の事務は、センターの事務局が行うものとする。

(費用弁償)

第9条 委員及び部会員が会議に出席したときは、別に定める費用弁償を支給する。

(補則)

第10条 この要綱の施行に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和3年6月21日から施行する。

## 2. 第四次中期計画策定委員会

### (1) 委員名簿

		氏 名	ふりがな	所 属
1	◎	石 井 登	いしい のぼる	事業部会 部会長 広報部会 副部会長
2	○	舟 橋 和 夫	ふなばし かずお	総務・社会福祉部会 部会長
3		本 澤 満	もとざわ みつる	総務・社会福祉部会 副部会長
4		岩 淵 勝 美	いわぶち かつみ	事業部会 副部会長
5		島 田 由美子	しまだ ゆみこ	広報部会 部会長
6		櫻 谷 洲 夫	さくらたに くにお	安全管理委員会 委員長
7		山 本 隆	やまもと たかし	安全管理委員会 副委員長
8		川 根 隆	かわね たかし	常務理事(事務局長)

◎…委員長    ○…副委員長

### ◆事務局職員

氏 名	備 考
川 口 和 也	事務局長代理
斎 藤 守	次 長
金 安 潤	次 長
藤 本 賢 一	次 長
柴 木 陽 平	主 任
千 葉 麻衣子	主 任



## (2) アイデア部会名簿

	氏名	ふりがな	所属
1	◎ 岩 渕 勝 美	いわぶち かつみ	学校施設管理
2	宇賀神 謙 次	うがじん けんじ	児童通学案内
3	小 田 千 福	おだ せんぷく	公園管理
4	金 井 幸 治	かない こうじ	機器メンテナンス
5	小 鹿 義 孝	こしか よしたか	放置自転車整理
6	小 宮 英 次	こみや えいじ	カート整理
7	丸 道 夫	まる みちお	スポーツ施設管理
8	宮 川 みさ子	みやかわ みさこ	派遣就業

◎…部会長

### ◆事務局職員

氏名	備考
川 口 和 也	事務局長代理
斎 藤 守	次 長
金 安 潤	次 長
藤 本 賢 一	次 長



### (3) 女性部会名簿

	氏 名	ふりがな	所 属
1	◎ 島 田 由美子	しまだ ゆみこ	単発
2	太 田 タミ子	おおた たみこ	公園管理
3	岡 村 朝 子	おかむら あさこ	筆耕
4	小 見 能 子	おみ よしこ	児童通学案内
5	小 松 正 子	こまつ まさこ	単発
6	清 水 ちえ子	しみず ちえこ	店舗清掃
7	日比野 瑠美子	ひびの るみこ	家事援助
8	眞 崎 常 子	まさき つねこ	児童通学案内

◎…部会長

#### ◆事務局職員

氏 名	備 考
川 口 和 也	事務局長代理
斎 藤 守	次 長
柴 木 陽 平	主 任
千 葉 麻衣子	主 任



### 3. 審議経過

開催日	審議内容
令和4年7月20日(水)	策定委員会：第四次中期計画骨子(案)について
令和4年8月23日(火)	アイデア部会：課題・施策の分析について
令和4年8月29日(月)	女性部会：課題・施策の分析について
令和4年9月26日(月)	策定委員会：第四次中期計画(素案)について
令和4年10月17日(月)	女性部会：計画案について
令和4年10月19日(水)	アイデア部会：計画案について
令和4年11月17日(木)	策定委員会：第四次中期計画(案)について

令和4年11月17日(木)の策定委員会において、「第四次中期計画(案)」を審議した結果、最終案として承認されたため、同月の理事会で「第四次中期計画(案)」について、策定委員会の審議内容を報告し、議決された。





江東区シルバー人材センター  
第四次中期計画  
(令和4年度～8年度)

策 定：令和5年1月  
発 行：公益社団法人江東区シルバー人材センター  
東京都江東区東陽6丁目2番17号  
TEL. 03(3649)3533  
印刷・製本：睦美マイクロ株式会社

